

2019年度全社協 国研修 後期 就労支援員研修

12月12日9時～11時

『講義と演習③』

地域づくり、自治体による就労支援

(一社)釧路社会的企業創造協議会 櫛部武俊

オッチャンたちの誇り

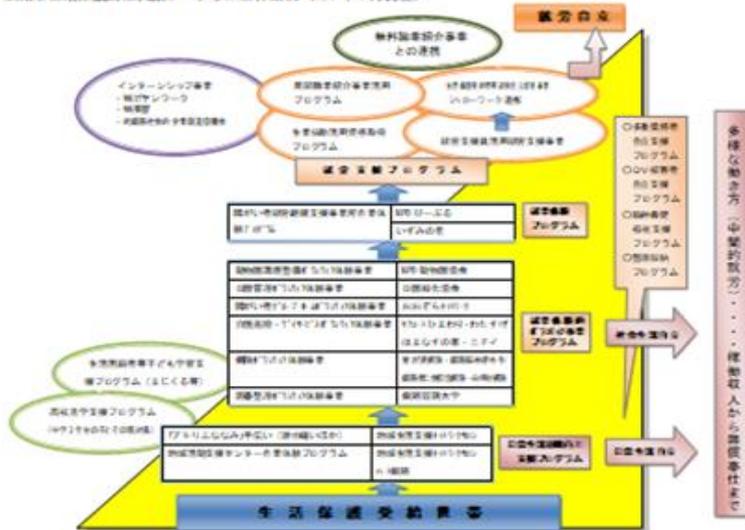


自立助長から自立支援へ

- ◆1950年生活保護法（2014改正生活保護法）以来『自立の助長』を目的としてきた。（適正実施）
- ◆2004年社会保障審議会福祉部会『生活保護制度の在り方に関する専門委員会』⇒経済的自立（就労自立）・健康回復・生活の自己管理の日常生活の自立、社会との繋がり回復する社会生活の自立 の三つの自立論と自立支援プログラム ◆2004年（平成16年）から取り組んできた釧路モデル～自立支援の到達点
- ★中間的就労と社会的居場所づくり★かけがえのない私という実存（自己肯定感）

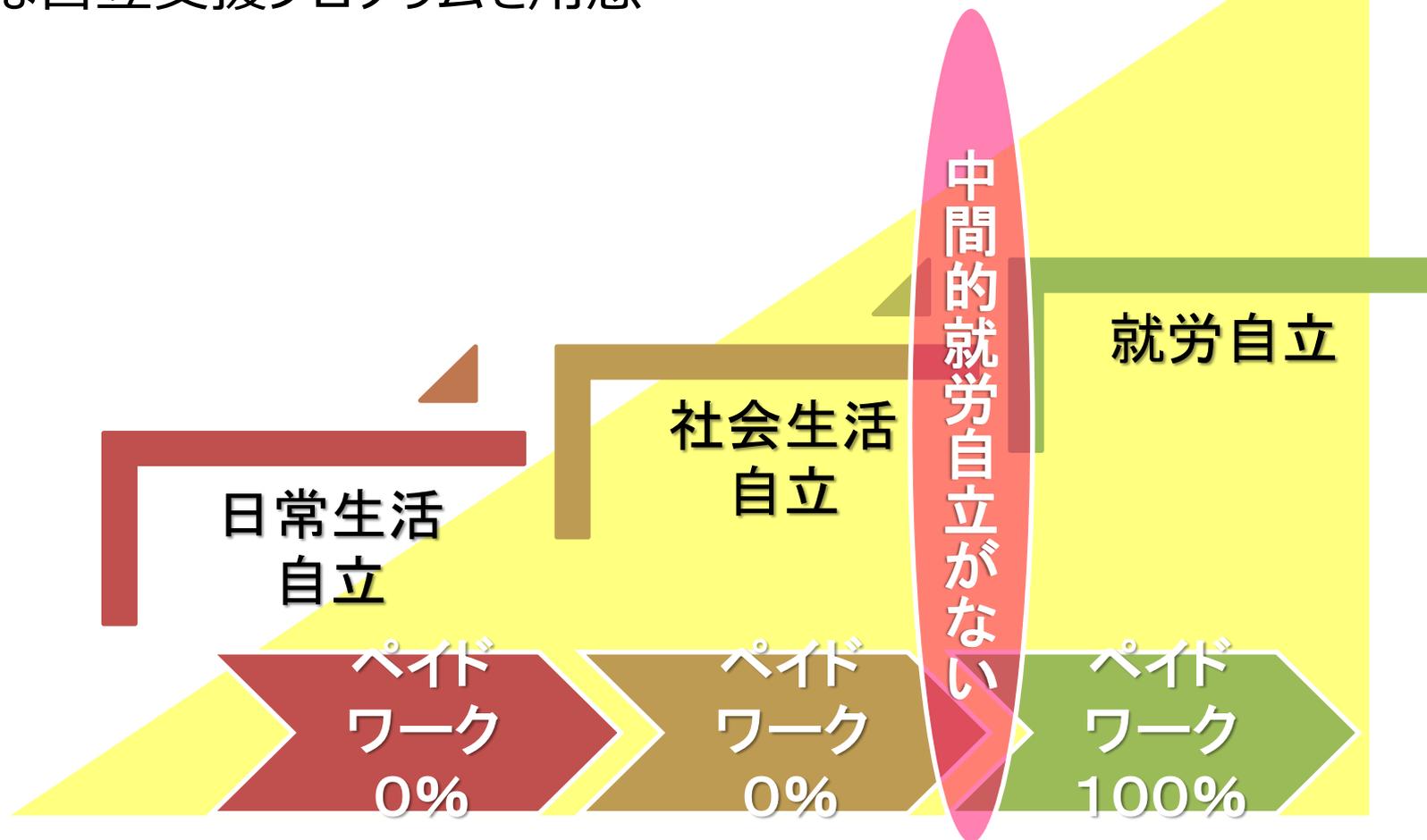
現在の自立支援プログラムとその実績

釧路市生活保護自立支援プログラム全体概況（H31年4月現在）



釧路モデルの分析と中間的就労

ただちに就労困難、あるいはケースワークだけでは就労困難な生活保護受給者を対象にご本人の「ステージ」に応じた多様な自立支援プログラムを用意



漁網の仕立て作業～基幹産業のニッチと技術継承



自立の道広げる 体育館ネット

生活保護受給者が漁 生産品の多様化に向け 網作りで経済的な自立 「第一歩になる」と作 を目指す鉚路市の事業 業に熱を込めた。

参加者だが31日 ネットは球技で使用 鉚路フラインジャーマン するスペースと子供用 スワフMOO内に市 の遊具の収納場所を任 がつ春 開設予定の津 切るために取り付け に張るネットを加工し 保護受給者向け事業を 受託する鉚路社会的企 業創造協議会が市内の 携わるのは初めてで、

体育館内に設置するネット を加工する就労支援事業への参加者ら

鉚路市の生活保護者支援事業 漁網以外の製作は初

ビルに設けた作業スペースに約10人が集り、長さ約16m、幅約3mの既製のネット2枚を、設置場所に合うサイズへと切断した。協議会では、担い手が不足している漁網作り、本年度から本格的に取り組んでいる。参加者は技術を高めながら収入を得ている。整備を進める市が、普段、網を扱っているノウハウをいかして、もう一つ、発注された。漁網作りを手ほどきしている山本輔樹(厚岸町)の山本輔樹社長は「これが、今までになかった作業を受けるきっかけになれば」と期待する。

MOOの遊具施設兼体育館は、2012年に廃止された屋内プールを改修し、4月上旬にオープンする見通し。(木津谷学)



カラマツ材と漁網でイス

鉚路市が開発

座面張りは生活保護自立支援事業 150脚 MOO多目的アリーナに

イスは、漁網とカラマツ材を使った。座面の張りは生活保護受給者の自立支援事業として行っている。

鉚路市は、漁網とカラマツ材を使ったイスを開発した。イスの座面は、漁網を加工し、カラマツ材の枠に組み立てる。このイスは、生活保護受給者の自立支援事業として行っている。イスは、漁網とカラマツ材を使った。座面の張りは生活保護受給者の自立支援事業として行っている。

地域で支えられていた人が支える人に回る仕組みを構築

生活困窮者支援を通じた地域づくり

- 漁業は、釧路市・厚岸町の基幹産業であるが、その下支えをしている漁網業界の現場（整網作業）で高齢化が進み、担い手不足により業界の存続が危惧されている。
- 整網作業は、機械化するのが困難であり、今後も手作業に頼るしかないのが現状である。
- 新たな担い手が生まれえない大きな要因は、作業の習熟度が上がらないと、一定の収入が得られないことにある。
- そこで、本協議会の取り組む中間的就労自立の場として、整網作業に取り組み、同時に問題解決を図るのが狙いである。

出口づくり・就労支援部会



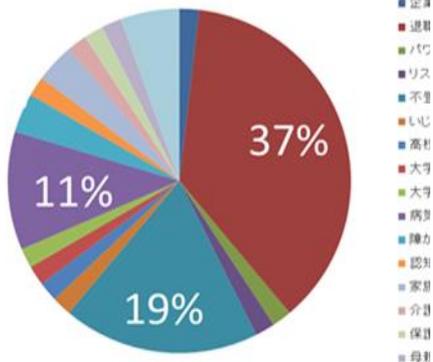
企業、障がい者就業・生活支援センター等との学習会



いわゆるひきこもり（就職氷河期問題）の取り組み

労働・教育（学校）・疾病と孤立

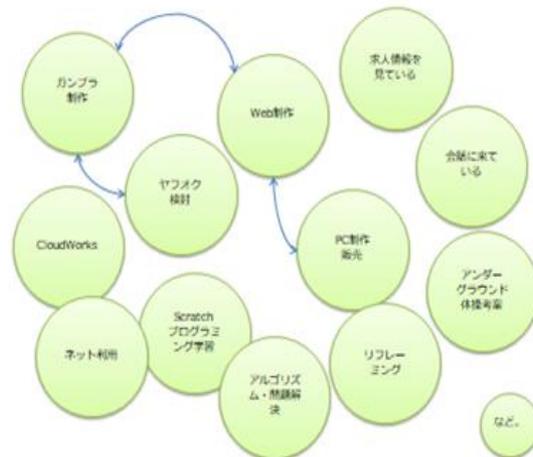
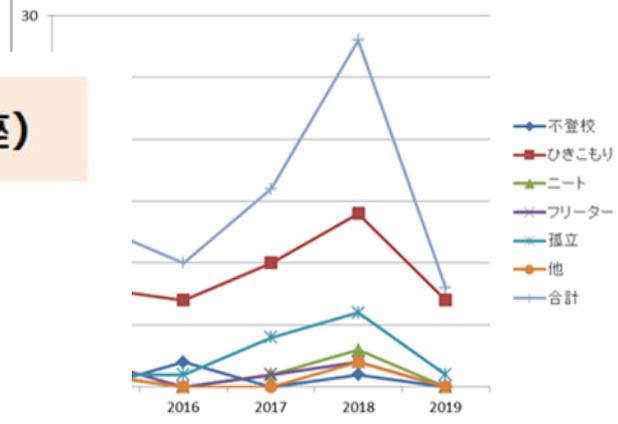
不登校・ひきこもり・ニートのきっかけ内訳



なんでもやってみるラボ（通称PC講座）



地域のホットスポット（釧路市）



音別ふき落団の取り組み

釧路市と合併した音別町。

『地域の資源「ふき」を通じて、街が有名になり、誰もが自信を持って暮らせる街に』
地域の人たちが紡いだビジョンが行政、企業、地銀、東京のヨソ者、音楽家の共感を生み繋がる。

ふき栽培で誇りと居場所を取り戻して、持続可能な暮らしを実現する。
農業と福祉と音楽で地域にお金を生み循環させる取り組みです。



多様な仲間と出合いで拓かれる

人を
元気に
する
プロ

農業の
プロ

福祉の
プロ

プロ
ジェク
トづ
くりの
プロ

音楽の
プロ

経営の
プロ

若者
支援の
プロ



自立・就労・社会を巡って

①自立論について

- 「社会参加と自立」が尊厳ある生活の基礎だとする考え方
- 自立支援型の貧者の統治様式だとする考え方

②就労支援論について

- 所得保障にたった就労サービス論だとする考え方
- 社会的自立、権利としての労働だとする考え方（中間的就労）

③地域共生社会論等、社会論について

- 互酬による共同体依存になるのか
- 共感を基礎とした人と人との関係によるのか
- 連携にとって 役場も民間も縦割りで自分たちが一番だとする文化の中にいる。

★**新福祉事務所構想**青森県モデル（1973年から3年）・・青森県東福祉事務所 **六法型福祉事務所**（ゼ ネラリック・・地域福祉活動の重要性の認識、社会が「個人・家族・地域」で成り立つことへの強い関心、福祉ニーズ に応える計画が必要との認識）

★**中間的組織の重要性**（NPO・協同組合等）

★**社会をつくるSW**・・・1980年代からCO、CD、SAが消える。SW = 実質ケースワーカーが残る。個別支援と管理化



あなたの
悩みが必要です。
助けを求めるその手は、
誰かを支える手にもなります。



お金



仕事



生活・健康



身近な人に
相談しづらい様々な
悩み・不安を
「くらしごと」へ
ご相談ください

はたらく場所を探す人。
はたらく手が足りない人。

安全な暮らしを送れない人。
安全な暮らしを分かち合いたい人。

みんなが抱えている
悩みや不安を減らすために、
あなたの相談を、
お待ちしております。



悩みや
不安の解消へ

「くらしごと」は不安を
解決するための伴走者です。

共に考え専門家にも相談

くらしごと

専門家
地域パートナー

解決に向けて
寄り添い、考えます

釧路市・釧路管内生活相談支援センター くらしごと

【委託者】釧路市・北海道 【受託者】一般社団法人釧路社会的企業創造協議会
〒085-0015 北海道釧路市北大通12丁目1-14 ビケンワークビル1階

【開設時間】平日9:00~18:00

【ホームページ】<http://www.sbcc946.com/> 【E-mail】sbcc@kuh.biglobe.ne.jp

あなたとの約束を守ります。(個人情報や秘密、プライバシーなど)

ご相談・支援は全て無料 TEL.0154-65-1250



釧路駅 ●バスターミナル

●ホテルクラウンヒルズ釧路様
●コンフォートホテル様

北大通

「くらしごと」はビケンワークビルの1階にあります。水色のビルが目印です。